ボーリング柱状図

調　　査　　名　砂防指定地内河川 八幡川 通常砂防事業に伴う設計業務委託

事 業 ・ 工 事 名

ボーリングNo.	5	1	3	2	1	3	8	7	0	0	2

シートNo.

ボーリング名	Bor.No.2	調査位置	No.0+1.22(L-22.31)		北　緯	34° 09’ 28.2225″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	平成27年11月13日～平成27年11月23日		東　経	132° 27’ 55.6430″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP 143.15m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配 水平 0° 鉛直 90°
総掘進長	8.00m	使用機種	試錐機	東邦製DO型	ハンマー落下用具	自動落下
			エンジン	ヤンマーNFD-13K	ポンプ	BG-3B

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 m	試験名及び結果	試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
1									既設堰堤。左岸側袖部。 硬質な粗石とコンクリートの混合材料（粗石コンクリート）よりなる。空隙が部分的に認められる。 粗石は細～中粒の花崗岩からなり非常に硬質。礫～短柱状で採取される。 粗石の最大コア長は20cm程度。 コンクリートは粗骨材を含み，間隙が部分的に認められる。 玉石との境界部では砂状となる。 材料の割合は，粗石部62.1%，コンクリート部17.2%，空隙部20.7%である。 ＧＬ-0.40mより全漏水。												11/13
2					コンクリート	灰～褐灰																		11/18
3																								
4	138.55	4.60	4.60								11/23 4.21													11/19
5						淡褐			基盤岩。粗～中粒花崗岩。 高角度の亀裂多く，主に岩片状で採取される 岩片は硬質。ハンマー打撃で濁った金属音。			5.00	貫入不能			50/0	50/0±							
6												6.00	貫入不能			50/0	50/0±							
7					花崗岩	淡褐灰			GL-6.75m以深，亀裂減少し短柱状（最大コア長20cm）主体となる。 ハンマー打撃で金属音。			7.00	貫入不能			50/0	50/0±							
8	135.15	3.40	8.00									8.00	貫入不能			50/0	50/0±							11/23
9																								
10																								
11																								
12																								
13																								